

【今津小学校区】学校再編に係る地域説明会 概要

【日時】 2017年（平成29年）12月15日（金） 19:30～21:00

【場所】 今津公民館 大会議室

【出席】 参加者 38人（傍聴3人を含む。）

行政 10人（教育次長，管理部長，学校教育部長 他）

報道 3社

- 【内容】
- 1 開会
 - 2 あいさつ（教育次長，今津学区自治会連合会長）
 - 3 学校再編について説明（学校再編推進室長）
 - 4 意見交換
 - 5 閉会

あいさつ

教育次長

- ・少子化に伴い，本市では，1980年（昭和55年）当時から，子どもの数は約4割も減っている。一方，学校の数はほとんど変わっておらず，学校の小規模化が急速に進んでいる。
- ・東村小学校では複式学級となっている学年があり，一定の集団で教育を行う学校運営が難しくなっている。学校再編は，教育効果を高めるために，学校の規模を適正化し，全市的に学校配置を見直すものである。教育環境を整え，これからの時代を生きる子どもたちに相応しい力を付けていきたい。

今津学区自治会連合会長

- ・今津小学校と東村小学校の再編については，6月に回覧等でお知らせした。本年度中に開校準備委員会を設置したいということで，今日の説明会の場をもつこととなった。
- ・これまで，地域役員や今津小学校のPTAの方等には説明がなされている。また，東村学区では説明会の開催や住民アンケートなどが行われている。今日の会を通して，学校再編とはどういうことなのかをしっかりと聞いていただきたい。

意見交換（出席者から出された意見等）

学校再編に関すること

○再編に当たり危惧されることは何か。

→（回答）

東村学区の保護者は，学校が遠くなりスクールバスで通うようになることや，学校規模が大きくなり，新しい友達や先生など学習環境が変わることに不安を持たれている。そうした不安を一つ一つ解消できるように教育委員会の考えや対応策について説明している。また，今津小学校区の方の再編への理解が広がっていないことについて危惧されている。役員の方は意見交換を通じて理解をしてくださっているが，住民全体への理解が広がっていない。教育委員会として，資料を配付するなど，理解を広めるよう取り組んでいる。

学習面では，それぞれの学校が地域の特色を生かした学習をしているが，再編後は，これまでと全く同じように学習することは難しくなる。これまで培ってきた学習内容等を良い形で引き継ぎ，学びが広がっていくように，今後両校の教員と教育委員会が教育課程を検討していく。

○子どもは東村小学校との交流を通じて、再編することは知っている。以前再編について、「自分達は人数が多いから勝つ」と言ったので、「高西と東村の消防団は仲が良い。学校もそうならなくてはいけない」と注意したことがあった。子どもが人数の多少を勝ち負けと捉えてしまわないか心配している。

→ (回答)

家庭でそういった話をしてもらえるのはありがたい。保護者や祖父母の皆さんが理解してくださっていることは、子どもたちに伝わっていく。

子どもたちが、友達になり、お互いの学校の様子を知ることができるよう、授業や行事の交流を行っている。再編に向けて、回数も交流内容もさらに充実させていく。

○東村小学校と今津小学校の児童の事前交流を進めてほしい。開校時に在籍するのは3年生以下の児童だが、4年生から6年生の交流も、家族や後輩に感想を伝えるなど、再編への理解につながると思うので、そういった活動をどんどんしていく必要がある。

→ (回答)

東村小学校では、昇降口にモニターを置き、今津小学校との交流の様子の写真と校長のコメントがいくつも映し出されるようにしており、子どもたちや迎えに来た保護者がそれを見ている。大人が思っている以上に子どもたちは柔軟に受け止め、未来を見据えていくものだと思っている。いただいた意見を生かし、今後も計画的に交流を進めていきたい。

○大成館中学校区として小中一貫教育をしているが、今津小学校、東村小学校と大成館中学校の学校同士で、どうしていくかという話し合いをする必要があるのではないか。

→ (回答)

中学校区では、小学校と中学校の教職員が、学力向上、体力向上、児童生徒交流など、目的に応じた連携を定期的に行いながら、小中一貫教育を進めている。再編後の教育内容等についても、小学校同士の連携だけでなく、必要に応じて、中学校区での連携を図っていく。

○日頃から家庭の中で実際に話すことで子どもの胸に落ちる。いじめはとんでもないということを親が教えなければ良い社会は来ない。3年先はあつという間に来る。今津小学校と東村小学校の保護者が一緒に集まって本音で話す場が必要である。

→ (回答)

新たな学校づくりにあたって、今津小学校と東村小学校の保護者が思いを共有できる場を、段階を踏みながら作っていきたい。

現在、東村小学校の保護者に対して、具体的な対応策を示す中で、不安の解消に努めている。今後は、両校の保護者全体の話合いの場を設定したい。また、それと同時か近い時期に、両地域の話合いの場を設定し、3月末までに開校準備委員会を設置したいと考えている。

○今後の計画を教えてください。

→ (回答)

施設整備については、校舎、体育館の内装、外装等の環境整備をすることとし、今年度設計し、来年度から工事に入る。「ふれあいルーム」を作ることを計画しており、地域の方と児童の交流の他、今津、高西、東村の地域の方同士の交流にも使えるようなスペースにしたいと思っている。

○今津の住民には、校名や校歌が変わり新しい学校になるという認識は多分薄い。再編はいい考え方だが、住民に受け入れられるかどうか。今津の住民がどういう意識を持っているのかアンケートを取り、その中で考えることも必要ではないか。住民の意見を何回か吸い上げていかなければ、開校準備委員会で意見の言いようもない。

→ (回答)

できるだけ多くの方に再編について理解していただいた上で、開校準備委員会というスタートラインに立てるようにしたい。提案いただいたアンケートについては、実施を検討する。

○アンケートは市が作って配付するのか。

→ (回答)

アンケートの内容や配付方法などについて、自治会連合会長と相談させていただく。

○東村学区ではこれまで何回アンケートを実施したのか。

○東村学区のアンケートの結果をもらうことはできるか。

→ (回答)

教育委員会が実施したアンケートは1回である。他に東村学区が地域独自で実施されている。教育委員会が実施したアンケート結果については、東村学区に了解を頂いたうえで、提供する。

○2回目の地域説明会を行う予定はあるか。

→ (回答)

アンケートの結果も踏まえる中で、自治会連合会長と相談させていただく。

○学校の再編は、国難とも言うべき少子高齢化の時代で、教育委員会も議会も長い間議論し、これしか道はないと考え取り組まれている話。トラブルもあると思うが、決定した以上は弊害を最小限に抑えるようにしていかなければいけない。地域も一所懸命にバックアップするので、出来るだけスムーズにいくようにお互い努力しなければならない。

→ (回答)

我々もその思いを受けてしっかり取り組んでいきたい。

教育環境に関すること

○東村小学校の給食はとてもおいしいと聞く。今津小学校の給食づくりにも生かされるのか。

→ (回答)

東村小学校では、地域の方と一緒にお米を作り、地域で採れた野菜を給食の食材として使っている。納入してくださっている地域の方々と相談し、取組を引き継げるようにしていきたい。

○登校時のスクールバスに乗り遅れた場合は保護者が対応するとのことだが、保護者がどうしても送れないときや車の免許を持たない等、対応できる人がいないときの手立ては考えているのか。

→ (回答)

登校時のスクールバスは、運転手が名簿で子どもの乗車を確認し、当日乗車できない場合は家庭から学校、学校からバス会社に連絡する。原則として、遅れた際は保護者に対応していただくよう考えていた。バスに乗れなかったときに、学校に行く手段がない場合の手立ては検討する。

まちづくりに関すること

○学校を一緒にしていくということになれば、まちづくりの視点でも話をする必要がある。東村にとっては学校がなくなる大変なこと。そういう中で東村の意見を取り入れていく必要がある。教育委員会だけでなく、市長部局も含めての話し合いが必要である。

→ (回答)

まちづくりの視点でも、今津、高西、東村の地域の方が集まり、新しい学区として一緒に思いを共有する場を作りたい。まちづくりについては、市役所内に関係部局連携会議があり、再編に係る課題の共有や地域説明会等について連携している。教育委員会だけでなく、市民局まちづくり推進部をはじめ関係部局が一緒になり、地域の皆さんと話し合っていきたい。

○今津小学校は高西と今津の地域で、それぞれに文化祭や敬老会等の行事があるため、教員もPTAもそれぞれに参加している。さらに東村地域が加わり、3つの地域行事に対応すると教員は働きすぎになるのではないか。これからのまちづくりと学校の関わりについて考えていただきたい。

→ (回答)

学校は、保護者や地域の皆さんに御協力を頂きながら子どもたちを育てている。地域の学校として、教員がどのように関わっていくか一緒に考えていきたい。

その他

○小学校の交流について、高西地区は、小学校卒業後は大成館中学校には行かない。東村小学校だけではなく、松永小学校等と交流を広げることは出来ないのか。

→ (回答)

現在小中一貫教育の取組は、今津小学校は大成館中学校区で実施している。この取組を、松永地域として広げることができるかということは検討していきたい。

○現在今津小学校にスクールカウンセラーはいるか。また、不登校の児童はどれくらいいるか。

→ (回答)

スクールカウンセラーは2週間に1度学校にいるように配置している。

不登校の児童については、手許に資料がない。

→ (追加回答)

不登校児数は、2017年(平成29年)12月末現在で、全校児童(同年5月1日現在337人)の3.24%である。